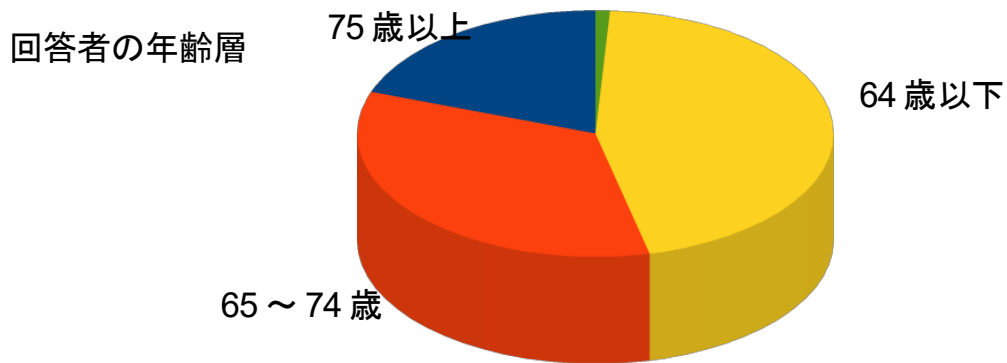


自治会だより(平成30年度第2号)

発行:12月1日 レインボー自治会

11月に実施した「レインボー自治会運営に関する住民アンケート調査」の結果がまとまりました。

- 調査期間:11月4日～11月末日
 - 調査対象数:全自治会員418
 - 回答者数:205(回収率49%)
 - 回答者属性:
 - ・ 性別=男:110、女:89、男女:2、不明:4
 - ・ 年齢層別=64歳以下:93、65～74歳:70、75歳以上:40、不明:2
 - ・ 居住歴別=10年未満:53、10～30年:40、30年以上:78、不明:34
- なお、氏名を記入いただいた方が106もありました。

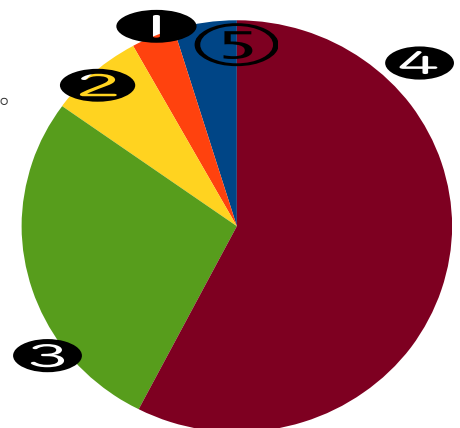


問 A-1 今年中止した夏祭りの来年度以降の開催についてお聞きします。

ちなみに、昨年度までは毎年7月に予算70万円(レインボーの負担額)で山王台自治会・千代田自治会と合同で開催してきました。

- | | |
|--|-----|
| ① 実施時期の変更はあっても、これまでと同じような内容で開催すべき。..... | 7 |
| ② 内容を多少は縮小しても良いが、可能な限り同じように開催すべき。..... | 15 |
| ③ 内容にはこだわらないが、会員の多くが楽しく参加できるイベントは必要だ。..... | 58 |
| ④ 役員の負担になるのであれば、無理してまで開催する必要はない。..... | 122 |
| ⑤ その他 | 10 |

- ・ 伝統的な雰囲気絶やさないで。
- ・ 子供会を中心に交流を深めたら良い。
- ・ 地域的、世代的に広範囲な交流の場が必要だ。
- ・ 子供たちの記憶につながるものとしてお祭り、盆踊りが必要だ。
- ・ 祭りに限らず、災害時の炊き出し訓練を兼ねて。
- ・ 過去に後片付けだけが人の発生もあり、無理のないお祭りであるように。
- ・ 他では聞いたことがない、中止とはあきれた。
- ・ 高齢化のいま、このような行事は到底無理だ。



問 A-2 前問 A-1 で、①、②、③、⑤のいずれかを選ばれた方にお聞きします。
お祭りを開催するにあたって、どのような体制であれば開催が可能とお考えですか？

- | | |
|--|----|
| ① 自治会の理事・評議員が中心となって開催できるはず(それが役目)。 | 13 |
| ② 自治会の理事・評議員だけでは困難と思うので、熱意のある方や自治会OBなどがサポーターとなって開催したらよい。 | 69 |
| ③ その他 | 7 |

問 A-3 前問 A-2 で、②を選ばれた方にお聞きします。
あなたはサポーターとなってお祭りの手伝いをしていただけますか？

- | | |
|--------------------------------------|----|
| ① 内容にもよるが、できる範囲で手伝いをする用意はある。 | 37 |
| ② 気持ちはあるが、(仕事や健康の関係などから)手伝いはできそうにない。 | 29 |
| ③ その他 | 10 |

<夏まつりに関するアンケート結果概要>

回答者の60%が「無理してまで開催する必要はない。」を選択しましたが、何等かの形で開催すべきとする意見も40%近くあります。

高年齢層ほど開催を要望する割合が高かった。

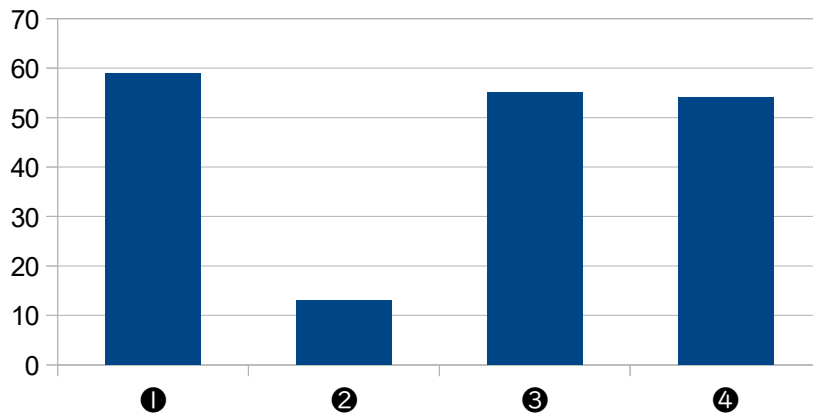
開催に当たっては「サポーターの活用がよい。」としたのが多数を占め、「手伝いをする用意がある。」とするものが一定程度あった。

問 B-1 巨大地震に備えてお宅では家具の転倒防止対策を行っていますか？

- | | |
|-------------------------|-----|
| ① 全ての家具の転倒防止対策を行っている。 | 23 |
| ② 一部の家具の転倒防止対策が終わっていない。 | 103 |
| ③ ほとんど対策をとっていない。 | 76 |
| ④ その他 | 2 |

問 B-2 前問 B-1 で、②、③、④を選ばれた方にお聞きします。
転倒防止対策がまだ終わっていない理由は何ですか？(複数回答 OK)

- | | |
|---------------------------|----|
| ① どのように対策したらよいか分からないから。 | 59 |
| ② 何処に対策工事を頼んだらよいか分からないから。 | 13 |
| ③ 壁などを傷つけないから。 | 55 |
| ④ その他 | 54 |
- ・考えたこともなかった。
 - ・忘れていた。
 - ・切りがないから。
 - ・考慮中。時間がない。順次対策を進めている。
 - ・物が多すぎるので。家具が重たいので。
 - ・居室には家具を置いていないので。家具が低いので。
 - ・転倒するような家具を置いてない。



問 B-3 災害に備えて、お宅では食料・水の備蓄を行っていますか？

① 家族の3日分の食料・水の備蓄を行っている。	60
② 多少の備蓄は心がけている。	125
③ 備蓄は心がけていない。	18
④ その他	3

問 B-4 (災害の種類・規模などにもよるとは思いますが)災害の発生した時、自治会に期待することがありますか？(複数回答 OK)

① (自分を含む)住民が無事であるかどうかの確認	91
② (自分を含む)住民の救急・救命の活動	78
③ 自宅が住めない状況になった場合の避難できる場所の確保(公設の避難所への案内を含む)	131
④ 自治会や地域防災拠点が備蓄する水や食料の提供	109
⑤ トイレの確保	139
⑥ 生活などに必要な情報の伝達	121
⑦ その他	5

・集合住宅で最も困ることを教えて欲しい。

問 B-5 防災訓練で実施してほしい内容は次のどれですか？(複数回答 OK)

① 消火器の操作訓練	65
② AED(心停止の場合に用いる医療機器)の操作訓練	89
③ けが人などの搬送訓練	45
④ 安否確認の訓練	66
⑤ 炊き出し訓練	49
⑥ 備蓄した食材を使って美味しく食べる調理法の実演	25
⑦ 防災に関するいろいろな講話	51
⑧ その他	9

・メディアが伝えない実体験を聞きたい。
 ・期限切れ備蓄品を食材として活用した防災祭を。
 ・トイレが使えなくなった時の対処方法を。
 ・レインボーのことが分からないので危険個所の見学がてらの説明を。
 ・棟ごとに顔なじみになる必要を感じている。

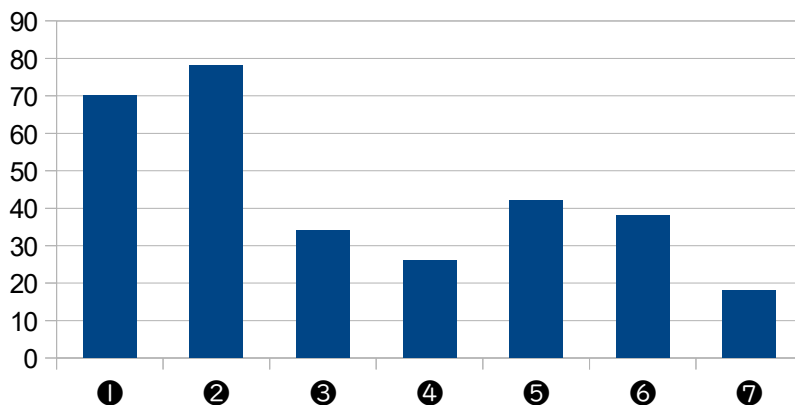
<防災対策に関するアンケート結果概要>

- 大多数のお宅ではまだ家具の転倒防止対策が完全には終わっていないようです。
その理由として、壁などを傷つけないというのが多数を占めていますが、工事の方法などに悩んでいるお宅も多数あることが明らかになりました。
- 災害発生時の自治会への要望項目ではトイレの確保が最も多かったが、全項目に満遍なく要望が寄せられました。
- 防災訓練の内容として、AEDの操作訓練などの要望がありました。

問 C 防災以外に自治会に期待したい活動がありますか？(複数回答 OK)

① 高齢者世代や子育て世代などを意識した活動	70
② バスの利便性向上など、お出かけ支援の取り組み	78
③ ヨガ・体操など、体を使った教室・サークル活動	34
④ 絵画・書道・囲碁・将棋などの趣味の教室・サークル活動	26
⑤ バザーや不用品の交換会	42
⑥ 誰もが集まって駄弁ったり、情報交換できる場づくり	38
⑦ その他	18

・高齢化のなか、組織・活動を見直す時期に来ている。
 ・中央施設にコミュニティカフェづくりを。
 ・コンビニの誘致を。
 ・大人用の健康器具の設置を。
 ・地区センターの活用が効率的。
 ・独居世帯へのケア、声掛けを。
 ・障害者と一緒にイベントや交流会を。
 ・野良猫を減らす取り組みを。



<自治会活動全般への要望に関するアンケート結果概要>

- お出かけ支援の取り組みや、高齢化世代・子育て世代を意識した取り組みへの要望が突出していました。
- 75歳以上からは、他の年齢層に比べ、趣味の教室や気軽に集まれる居場所づくりの要望が多かった。

これらの結果をもとに、新年度の理事候補者とも意見交換を深め、新年度の事業計画や予算に反映してまいります。